

HP Operations Orchestration

Windows および Linux オペレーティングシステム 向け

IT Operations コンテンツパックバージョン 1.0.2x

HP 00 ソフトウェアバージョン 10.x 向け

IT Ops リリースノート

ドキュメントリリース日: 2014 年 1 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 1 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passport のログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品 サポート サービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 <http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは

<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp> です。

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration IT Operations コンテンツパック 1.0.2x リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

IT Operations コンテンツパック 1.0.2x は累積的なコンテンツパックです。

コンテンツパックの統合

次の表に、IT Operations コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
TN3270	3.3+
Opalis	6.2.2
System Center Configuration Manager	2003、2007、2012
System Center Operations Manager	2007、2012
System Center Orchestrator	2012
VMware vCenter Orchestrator (vCO)	4.0、5.1、5.5

新機能

- VMware vCenter Orchestrator (vCO) バージョン 5.1 および 5.5 がサポートされるようになりました。
- VMware vCO および Microsoft System Center に対する不具合がすべて修正されました。

IT Operations コンテンツパックのデプロイ

HP Operations Orchestration IT Operations コンテンツパック 1.0.2x は、既存の OO プラットフォームバージョン 10.00 またはそれ以降にデプロイする必要があります。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

OO プラットフォームバージョン 10.00 と、次の表に記されているパッチを使用してください。

コンテンツ	パッチレベル
IT Operations コンテンツパック 1.0.2x	10.01

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、QCCR (Quality Center Change Request) 番号です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR1D159369	System Center Orchestrator 認証の失敗	<p>「Library/Integrations/Microsoft/System Center Orchestrator」フォルダーのオペレーションは、ドメインに含まれるホスト上のローカルユーザーで実行すると失敗します。</p> <p>すべての組み込みオペレーションに対して、値が割り当てられたフィールド入力は、オペレーション入力に変換されます。</p>
QCCR1D167191	VMware vCenter Orchestrator に HTTPS 証明書のサポートが必要	<p>VMware vCenter Orchestrator のオペレーションは https プロトコルをサポートしますが、現時点では入力で証明書をインポートする方法がありません。HTTPS プロトコルを使用した場合、オペレーションは有効な証明書が見つからないというメッセージを出して失敗します。</p>
QCCR1D163628	OO-SCCM コンテンツでソフトウェア更新グループをデプロイする機能の追加	<p>OO オペレーションでは SCCM のソフトウェアグループのデプロイを実行できないため、SCCM を使用したソフトウェア更新グループのデプロイが可能なコンテンツオペレーションが必要でした。</p>

